

Title	多様性適応力測定尺度の開発： 日本ブラインドサッカー協会が実施するワークショップを題材にして
Sub Title	Scale of diversity adaptability : quantitative research based on the workshops by Japan Blind Soccer Association
Author	氏橋, 祐太(Ujihashi, Yuta) 白坂, 成功(Shirasaka, Seiko)
Publisher	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
Publication year	2012
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2012年度システムエンジニアリング学 第99号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40002001-00002012-0018">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40002001-00002012-0018</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

修士論文

2012 年度

多様性適応力測定尺度の開発  
—日本ブラインドサッカー協会が実施  
するワークショップを題材にして—

氏橋 祐太

(学籍番号 : 81133131)

指導教員 准教授 白坂 成功

2013 年 3 月

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科  
システムデザイン・マネジメント専攻

# 論 文 要 旨

学籍番号	81133131	氏 名	氏橋 祐太
論文題目： 多様性適応力測定尺度の開発 —日本ブラインドサッカー協会が実施するワークショップを題材にして—			
(内容の要旨) 競争力強化と社会的評価の向上という要求を背景とし、企業は多様な人材の確保に動いている。多様化した人材構成に対応するための施策が行われているが、その成功は組織の構成員たる個人の意識・能力の育成が重要という認識が共有されている。それ故に、個人を対象とした施策の一つとして「多様な人材が集まる中でも自らの個性を発揮し物事を達成する力」、言わば「多様性適応力」の育成が取り組まれている。しかし、多様性の対象や環境に制約を設けずに多様性に対する適応力を測定する指標はこれまで存在しなかった。それ故に、企業や教育機関が費用・労力を投資して実施している研修や授業といった施策の効果は実証されておらず、その比較検討も定性的にしかなされてこなかった。 本研究では、多様性に対する個人の適応力に関わる現状や施策の評価を可能にすることを目的とし、多様性適応力測定尺度を開発しその有用性を確認した。 開発フェーズにおいては、尺度（システム）・項目（要素）それぞれのレベルでのデザインと評価を行った。尺度デザインは、先行研究の手法に基づき文献調査・ブレインストーミング・有識者インタビューで項目を収集し、専門家を交えたグループインタビューにおいて項目の精査を行った。結果、多様性適応力を構成する8因子を抽出しそれぞれ命名と定義を行った。結果に基づき29の質問項目をデザインした。評価のために、大学生・大学院生を対象とするアンケート調査(有効回答数117件)を実施した。項目評価として個別項目分析、項目一全体相関分析、パス解析を実施し、妥当であることを確認した。尺度評価として、妥当性と信頼性を評価した。妥当性は構造方程式モデリングを用いた確認的因子分析で、構成概念妥当性の評価を、インタビューによって内容的妥当性の評価を行った。信頼性はCrombach's $\alpha$ を用いて内的整合性を評価した。結果、8構成要素29項目の尺度の妥当性と信頼性が評価され、多様性適応力測定尺度が開発された。 開発した尺度によって、多様性施策と現状の評価が可能であるかを調査した。施策の評価として、日本ブラインドサッカー協会が実施するワークショップを題材とし、ワークショップ実施前後での尺度得点を検定した。結果、ワークショップの効果が6因子に関して支持された。また、ワークショップの効果は画一的ではなく、実施回・ワークショップの種類によって異なることや、ワークショップ時に所属するサブグループ・スポーツ経験年数・年齢がワークショップ効果に影響を与えることが明らかになった。現状の評価として、調査対象者の人口統計学的変数が尺度得点に有意差を及ぼすか調査した。結果、男女・スポーツ経験年数・年齢によって複数の因子に先行研究を踏襲する有意差があり、海外滞在経験が許容力、信頼関係構築力と有意な相関があることが確認された。また2大学間で個性発揮因子、創造力因子に有意差が確認され、インタビューから入試制度の差が結果に影響を与えたと考察した。調査によって開発した尺度を用い多様性適応力に関わる施策と現状の評価が可能であることが確認された。 今後の展望として、本尺度の普及によって、様々な施策や集団の比較検討が可能になることが期待される。よって、本尺度を適用し調査を行うプログラム(教育等も含む)の種類幅と集団の範囲を広げ、比較検討を行う材料を質的・量的に増やすことが必要であると考えられる。			
キーワード(5語) 多様性、測定尺度、ブラインドサッカー、ワークショップ、アセスメントツール			

## SUMMARY OF MASTER’S DISSERTATION

Student Identification Number	81133131	Name	Yuta Ujihashi
<p>Title</p> <p style="text-align: center;">Scale of Diversity Adaptability - Quantitative Research Based on the Workshops by Japan Blind Soccer Association -</p>			
<p>Abstract</p> <p>“Diversity &amp; Inclusion” became one of the most common themes for Japanese companies, since it significantly affects companies’ competitiveness and stakeholders’ evaluation. Recent research states that company personnel should own high social skills toward diverse culture in order to successfully conduct “Diversity &amp; Inclusion.” Meanwhile, there is no research of social skills scales without certain restrictions of case or width of diversity.</p> <p>In this thesis, the researcher developed “Scale of Diversity Adaptability”, which measures the social skills of accepting the cultural diversity, in order to evaluate the effects of methods and current situation of social groups. The system design was conducted by literature review, interview, and brainstorming. The questionnaire and measurement method was decided by elemental design. Elemental evaluation was carried out by individual item analysis, item correlation analysis and path analysis, using structural equation modeling. Validity and reliability were evaluated for system evaluation, including construct validity by confirmatory factor analysis and contents validity by both quantitative and qualitative evaluation. The reliability was evaluated by using crombach’s alpha. As a result, the validity and reliability was evaluated for 8 factors 29 items scale.</p> <p>Using the developed scale, researcher measured demographic groups and effects of workshop. Researcher found out factors such as age, sexuality, university, sports experience, and experience of being abroad affects certain factors of diversity adaptability. The workshop effect toward the improvement of diversity adaptability was supported. In addition, the hypothesis that different types of workshops differently caused the effects of workshops was proved.</p> <p>Since the scale is a versatile assessment tool, the continual use of the scale will provide significant results for future works.</p>			
<p>Key Word(5 words)</p> <p>Cultural Diversity, Scale, Human Skills, Blind-Soccer, Workshop</p>			